

所属・資格 国文学科・教授

申請者氏名 武内 佳代

研 究 課 題		三島由紀夫文学の女性表象に関する研究
報 告 の 概 要	研究目的 および 研究概要	本研究では、1950年代から60年代の三島由紀夫の文学作品における女性（たち）の表象をジェンダー批評の観点から分析し直すことを通じて、従来の男性中心的に主題を立ち上げてきた三島作品の解釈を再考する。それにより、三島文学の新たな側面の解明を目指す。
	研究 の 結 果	今年度は、1960年代半ばごろに女性週刊誌に連載された三島由紀夫文学の中の女性表象について調査を行ってきた。それについては現在、活字化の準備を行っている。と同時に、三島の女性誌での仕事の最初期にあたる1940年代半ばの女性誌掲載小説についても研究対象とし、これについては3月に活字化を予定している。
	研究 の 考 察 ・ 反 省	本研究はいずれ書籍のかたちでの公刊を目指している。ただし、今年度は家族の介護の事情から、思うように調査結果を検討・考察の段階にまで至らせることができなかつた点が悔やまれる。来年度は、これまでの研究成果も含めて活字化、公刊できるようにしたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 【研究発表】 ・武内 佳代「「傷ついた亡霊たち——憑在論で読む大江健三郎「空の怪物アグイー」」（パネルタイトル「憑在論で読み直す〈語り〉——亡霊的なもの(たち)との邂逅）」 第7回 東アジアと同時代日本語文学フォーラム 2019 台北大会、東国大学、2019年10月27日	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	【研究成果物】 ・武内 佳代「ファッションと身体——登山・スキーズボン」（今井久代・中野貴文・和田博文編『女学生とジェンダー——女性教養誌『むらさき』を鏡として』笠間書院、2019年4月） ・武内 佳代「松浦理英子『犬身』の射程——クィア、もしくは偽物の犬」（『文学・語学』第224輯、全国大学国語国文学会、2019年5月）1-3頁 ・武内 佳代「三島由紀夫とスタア社版『マドモアゼル』——「接吻」「伝説」「哲学」「白鳥」（『日本古書通信』84(3)、2020年3月）※校正済み、掲載予定	